

各 位

上場会社名 株式会社 タカラトミー
 代表者 代表取締役社長 富山 幹太郎
 (コード番号 7867)
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 田島 省二
 (TEL 03-5654-1548)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年8月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 88,000	百万円 1,700	百万円 2,100	百万円 1,600	円 銭 16.93
今回発表予想(B)	88,000	3,250	3,500	2,600	27.51
増減額(B-A)	—	1,550	1,400	1,000	—
増減率(%)	—	91.2	66.7	62.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	88,221	1,976	2,030	1,847	19.35

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 197,000	百万円 6,700	百万円 6,600	百万円 5,300	円 銭 57.54
今回発表予想(B)	182,000	6,700	6,600	5,300	57.54
増減額(B-A)	△15,000	—	—	—	—
増減率(%)	△7.6	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	192,423	6,097	5,498	5,748	60.22

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 38,000	百万円 1,900	百万円 2,200	百万円 1,900	円 銭 20.10
今回発表予想(B)	40,000	3,450	3,700	2,850	30.16
増減額(B-A)	2,000	1,550	1,500	950	—
増減率(%)	5.3	81.6	68.2	50.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	34,912	1,350	1,715	1,443	15.12

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 82,000	百万円 4,100	百万円 4,100	百万円 3,900	円 銭 42.34
今回発表予想(B)	79,000	5,500	5,750	4,700	51.03
増減額(B-A)	△3,000	1,400	1,650	800	—
増減率(%)	△3.7	34.1	40.2	20.5	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	77,442	4,117	4,658	3,365	35.25

修正の理由

1、連結業績予想について

(1) 第2四半期連結累計期間

売上高につきましては、玩具周辺事業の不振や米国・欧州における玩具販売の落ち込みがあるものの、後述のとおり個別の売上が伸長しており、売上高は前回予想を達成できる見込みであります。利益面につきましても、個別の利益が大幅に拡大していることにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、前回予想を上回る見込みであります。

(2) 通期

世界的な景況の悪化に加え、第3四半期以降は国内玩具市場も厳しい事業環境が予想されており、売上高は減少する見込みであります。利益面につきましては、後述のとおり、個別業績は前回予想を上回る見込みですが、グループ会社の業績悪化等により、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初予想並みの水準に止まる見込みです。

2、個別業績予想について

(1) 第2四半期個別累計期間

定番商品が堅調なことやトレーディングカードゲーム「デュエル・マスターズ」や「トランسفォーマー」が引き続き好調に売上を伸長させていることから、売上高は前回予想を上回る見込みであります。利益面につきましては、ロイヤリティ収入を含む売上増に伴う粗利の増加、販管費の節減等により、営業利益、経常利益および四半期純利益は、前回予想を大幅に上回る見込みであります。

(2) 通期

景気の悪化に伴い個人消費が冷え込み、最大商戦期である年末・年始商戦が厳しい市場になることが予想されるため、売上高は当初予想を下回る見込みであります。利益面につきましては、第3四半期以降の売上高の減少およびコストの上昇などによる利益率の低下が想定されるものの、第2四半期累計期間において大幅増益を達成していることから、通期でも当初予想を上回る見通しであります。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載しております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上